

◇前期生徒総会

前期の生徒会活動を締めくくる生徒総会がありました。この半年間の生徒会活動を振り返り、生徒会スローガンや委員会スローガンを具現した姿が紹介されました。

ボランティア委員会では、委員長の中島滉基さんが、前期スローガンを具現している姿を紹介しました。

前期スローガン

一人一人が誰かのために
自ら進んで行動できる川島中

令和7年度前期

ボランティア手帳1冊達成率

80.6%

ボランティア実施の確実性

〈常時活動〉

1日2回以上ボランティア
「誰のために何をしたのか」の記入

ボランティア委員会		6月に計る重点活動			
		6/10(水)	6/17(水)	6/24(水)	6/30(水)
1年生	A	1	1	5	
	B	1	2	5	
	C	1			
	D	1	5	5	
2年生	A	5	5	5	
	B	5	5	5	
	C	5	5	5	
	D	5	5	5	
3年生	A	9	5	5	
	B	3	1	5	
	C	1			
	D	5	5	5	

～6月に重点活動を実施～

活動を活性化させていくうえでの土台
期間終了後も継続できる姿を目指した

夏休み前までに多くの人が
ボランティア手帳を1冊を達成！

各務原市では、毎年度末に、ボランティア手帳1冊目を達成している生徒が表彰されます。また、80%以上達成した学校には、各務原市教育委員会から『学校賞』が贈られます。そんな貴重な賞がもらえる資格を、既に前期の段階で達成できているのは、ボランティア委員会が中心となり、率先して活動した成果だと言えます。

ボランティア委員会の前期スローガンを具現している学級の代表として、ボランティア活動が「当たり前にできる姿」が定着している2年C組の様子を、ボランティア班班長の尾関陽菜さんが紹介しました。

2年C組 机上机列

10月6日(月)の放課後の様子…



「当たり前にできる姿」が定着している

放課後の机上机列が整っているのは一人一人の意識もそうですが、長尾絵里奈さんと青井咲月さんのボランティアによってきれいに整えられています。

そして、移動教室前の机上机列はボランティア班のみんなの呼びかけもあって全員が当たり前前にできるようになりました。

2C は、きれいな教室を目指すためボランティア委員会に任せられている机上机列を重点的に行なっていました。沢山呼びかけしていくうちにボランティア班ではないクラスメイトも呼びかけてくれたり、放課後に机上机列を整えるボランティアをしてくれたりするようになりました。このようなことから、2C の机上机列はどんな時でも整えられています。 (2C ボランティア班班長 尾関陽菜さん)

生徒総会では、「呼びかけをした」という発表が多かったですが、2C では呼びかけだけで終わらず、成果を生み出し、学級が高まっている点が素晴らしいと感じました。学級全員できれいな居心地のよい教室にしているところが素敵です。

そういう姿を生み出したのは、ボランティア委員長の中島さん自身が、「呼びかけ」だけで終わらず、「呼びかけたことをみんなにやってもらうために自分は何をするとよいか」を考え、自ら率先して活動し、全校としての成果を創り上げたからでしょう。頑張った事実のある人の発表は、聞く人の心を動かす強い力があると感じた瞬間でした。

